

仙台市科学館展示リニューアルについて

(1) 展示構成（テーマ）

「科学であそぼう・ふしぎであそぼう」

Wonder（驚く、不思議に思う、好奇心）な感情を引き起こす

(2) 3階展示リニューアルについて

今回の3階リニューアルに関しては、日常生活にある科学のふしぎを体験できる装置等を用いて展示を展開していた。今までの科学館のコンセプトを踏襲し日常でのふしぎな現象を体験してもらうとともに、さらに地域の大学等と連携した最新科学技術の紹介や、災害や防災展示を充実させた構成となっている。

また、チャレンジ・ラボのオープンスペースを活用し、講演会やサイエンスショーを実施できるようにした。小企画展に関わる講演会や体験教室などを実施するため、小企画展ブースとオープンスペースを連動して活用できるようにする。加えてチャレンジ・ラボを開催していない時にはフリースペースとして、移動可能な展示装置を配置し来館者が自由に楽しめるスペースにする。さらにエントランスには、仙台の科学に関する偉人や発明などを紹介するブースを設置し、地域に根ざした科学館になるようリニューアルを進めている。

(3) 展示ゾーン構成案

Zone 1 チャレンジ・ラボ

現象のふしぎ（ワンダーワンダー）

ふしぎな現象を見て触れてやってみる体験。

Zone 2 自然と災害

気象現象や地震の仕組みを知るとともに防災についても学べるブース。

地震体験装置を設置する。

Zone 3 自分とふしぎ（ワンダーME）

身近なものを起点に視点を変えて、ふしぎな事象を体験できるゾーン。

Zone 4 ワンダータワー（ワンダーMOVE）

「科学で遊ぼう」ワンダー体験のシンボル展示を設置する。

Zone 5 乗り物ゾーン

普段では、乗れない乗り物に乗ってみる体験。仙台市地下鉄をモチーフにした運転シミュレーター、フォーミュラカー、エアロスバルなどを展示。

Zone 6 感覚の不思議（ワンダーラビリンス）

視覚・聴覚などの人の感覚の不思議を感じる展示。

Zone 7 連携ラボ

研究機関と連携し、先端的な科学情報を発信。現在、東北大学東北メディカル・メガバンク機構、3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu（ナノテラス）、東北大学 COI-NEXT「Vision to Connect」拠点と連携した展示を予定。